

# 森 り よ う じ

森  
が  
動  
く。



副議長

流山市議会議員

討議資料

8月中旬より『実戦消防操法大会』に向け、週3日のペースで訓練に励んできました。残念ながら9月30日の大会は台風の影響により中止となってしまいました。ただ我々消防団は出動することのない平穏な日常を望んでいます。有事の際には訓練の成果が発揮できることを確信しています。

## 平成30年11・12月号 森りようじリポート。(94号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

### ■自治会で初挑戦！（ペット同行避難訓練）

市内の一自治会が実施する防災訓練のメニューに市内で初めて『ペット同行避難』に関連した取り組みを実施して頂きました。これは過去に議会で取り上げてきたことに対し、関心をお寄せ頂いたことがきっかけです。今回は数名の方がペットと一緒に避難所に移動訓練をしたり、獣医師会の先生による講演も行われました。



多くの参加者が講話の内容をメモしていた様子が窺えたことで関心の高さを実感しました。他の地域での展開も見据え、しっかりサポートしていきたいと思えます。

### ■小中学校の学校規模格差問題への対応

市内小中学校（25校）の間では様々な差異が出ています。生徒数の問題（200～1500名）、施設の老朽化（建設後3～60年）の問題、学校と地域の連携状況…など、各学校を取り巻く課題は様々です。そのような問題への対応策を探るべく、流政会で講師（水野達朗先生）をお招きして勉強会を実施しました。講師からは『学校の個性や地域性を活かしたアプローチが大切』との助言を頂きました。大規模・小規模校それぞれの特徴などを把握し、会派としてその対応策を模索していきます。

### ■ご案内(森から皆さまへ)

- ①次回の駅活動は平成31年1月からを予定しています。
- ②ポスティング協力をして下さる方を募集中です！

○1976年6月12日流山生まれ（42歳）

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社（管理部ほか）

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選（4,508票）

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選（5,830票）

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所：流山市中野久木559-2

討議資料

## 森が動く。①

【平成 29 年度決算審査を終えて】

9月18日～25日に行われた市議会決算審査では各委員から様々な質疑がなされました。最終的には賛成多数により『認定』となりました。

### 決算的見地で見える流山市の「歳入」状況

平成 29 年の一年間で約 5500 人の人口増加となった本市は、個人の方からの市税収入が 2.9% 増の 127 億円、法人（企業）市民税は 1.5% 増の 10.3 億円となりました。

また T X 沿線の区画整理の進捗に伴い固定資産税や都市計画税も増収となり着実な財務基盤の強化が見られました。



おおたかの森北口駅前開発も順調！

### 決算的見地で見える流山市の「歳出」状況

人口減少時代を迎えた今、鉄道敷設の恩恵が未来永劫に続くものではありません。そのため本市は行政としては珍しいマーケティング戦略を展開（3100 万円）し、積極的な人口誘致や定住促進策を展開することで“人口の減り難いまち”を目指しており、成果を上げつつあります。

同時に人口増に伴い求められる保育所整備（6.3 億円）、学童クラブ整備（5700 万円）、学校施設整備（設計費 2800 万円）では、人材や土地の確保の問題や周辺地域の理解を得るのに苦労した点は見受けられましたが、着実に事業を推し進めたことは評価すべき点です。

一方、既存市街地で進む高齢化への対策や格差社会と言われる中で弱い立場の方へのサポート（支給・支援など）の対応も急務の課題でしたが、これらについてもきめ細かく対応する施策が展開されていることを確認しました。

また人口増減に関わらず市民要望が一番高い安全安心分野の強化も見逃せません。消防本部の移転問題はその一つであり、早期実現の声を受けてようやく移転候補地（測量費 436 万）が示される段階となりました。これらの成果を評価し、流政会は『認定』の立場をとりました。

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 森が動く。②

【平成 31 年度予算への要望】

決算審査の終了と同時に、行政・議会内部では翌年度に向けた予算編成作業が始まります。それに伴い私たち議員も自らの政策実現や地域課題の解決に向けた予算化を行政側に求めています。私は厳選の上、12 点について要望しました。（以下、代表的な 3 点を報告します）

### ① 流山インターチェンジ機能拡充の検討

理由：現在工事が進む物流施設がフル稼働した場合、市内交通網の更なる強化が必至

### ② 防犯カメラ設置地域への補助制度の導入

理由：年 5 台の設置ペースでは危険地域をカバー出来ず、地域と連携した設置エリアの拡大

### ③ 中核都市化の研究

理由：最新の人口推計を見ると本市の 20 万人超えは明らかであり、地方分権・都市機能強化の視点から中核都市化の可能性を研究すべき

## 森が動く。③

【最新の動向を学ぶ研修会・勉強会】

### 公会計制度の勉強会（9月27日）

公認会計士協会が主催する勉強会でした。専門的な内容のため詳細は割愛しますが、端的に言えば現在の公会計は単式簿記（お小遣い帳のようなもの）のため、行政が所有する資産（公共施設など）についての把握など難しくなっています。またそれらの資産が老朽化の課題を抱えており、適切な管理や資産の整理を行うためにも複式簿記が重要とされています。国も地方に公会計制度導入を求めており、今後は台帳整備が遅れている本市にも求めて参ります。

### 地方行政論に関する研修会（10月19日）

私の重点調査事項である「地方行政論（地方のあるべき姿の追求）」の最新状況を佐々木信夫先生（中央大学名誉教授）から学びました。

憲法改正議論では「地方自治のあり方」の再定義も議論になっています。道州制や地方分権など地方行政も時代に即した『統治構造』へと変化を遂げていく必要性を感じています。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp